



Move Mountains

2月20日94号

○テレビ局見学／『修学旅行』

先週金曜日は、5年生最後のフィールドワークでした。

まずは、社会科の学習と関連して中京テレビを見学しました。テレビ局の見学はレアケースです。一つはそもそも見学の枠が少ないこと、もう一つは定員が少ないことです。

26人一学級なので、何とか空いているところで予約できました。

最初、「朝、テレビ見てきた人？」という質問に対して手が挙がったのは4人。学校の特性として家を出るのが早い子が多いのはそうでしょうが、テレビ局の方も「本当にテレビを見る人は減ってしまったから頑張らないといけない」と話をしていました。

カメラを触らせてもらったりしたのですが、小さめのものでレンズだけで800万円と聞いたので、見ているこちらが冷や冷やしました…。

本当に良い経験ができたと思います。



最後には、アナウンサー体験をしつつ、振り返りを発表しました。



午後には、修学旅行を想定した、名古屋での分散行動をしました。

色々ありました。本当に良い「失敗」をしました。安全が最優先事項なので、どうしても現場で苦しいながらも決断しないといけないことがありました。

エピソードを一つ。

あおなみ線で名古屋駅まで移動し、降りる班がありました。「出口」の改札に行く必要があるのですが、「JR乗り換え」の改札へ向かって行く姿が見えたので、後ろをついて歩きました。

JRの改札内を抜けた先の改札で出ようとしています。すると…「ピンポン！係員をお呼びください」と鳴り、出られませんでした。

あえて声を掛けませんでした。子どもたちは、駅員さんに相談すると、「向こうの改札へ回ってください」と言われました。その後、無事に出ることができました。

彼らは、これ以上ない良い経験をしたと思います。

そういったことを踏まえ、理事長、校長先生、三宅先生から「中等部1年生として期待すること」「行事の考え方」のお話をさせていただきました。

話の根幹にあるのは、ずっと変わらず「自立 自律」です。

『修学旅行』に行きたいのであれば、やりたいことがあり、達成するために行きたいところがあり、計画を立て、プレゼンする…そんなプロセスを踏めるようになってほしい。

そのためには、最低限の身辺自立をし、自分を律する（コントロール）自律が必要になります。

『修学旅行』としたのは、ネーミングによって印象が大きく変わるから、暫定的であることを表現するためです。「大フィールドワーク」「探究旅行」ネーミングも含めて、自分たちで考えていきましょう。



☆お便りフォームはこちら☆

<https://forms.gle/ndGkDHTYcmB1bWyU9>

